

コード番号

B017

講習名	【選択必修】教養としての日本語教育				
開設日時	8月2日(水)	担当講師	副島 健治		
会場	富山大学(五福キャンパス)	募集人数	30人	時間数	6時間
認定対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭	主な受講対象者	免許職種、教科等	特定しない	
			学校種	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	
			職務経験等	特定しない	
受講料	6,000円	受講料以外の経費	1,944円(テキスト代)		
講習の概要					
今日の学校教育現場は、日本以外の国・地域を出自とする子どもの在籍が珍しくはなくなった。そのような状況において「(外国語としての)日本語」、「日本語教育」に関する教養は、現場の教員にとってますます重要となってきている。教員としてのこのような教養を高めることを目的として「(外国語としての)日本語」、「日本語教育」について広く学ぶ。					
到達目標及びテーマ					
世界には6000以上ともいわれる言語があるが、およそ日本人にとっては日本語が母語であり、その学習経験はないのが普通である。本講習では日本語を外国語として捉えなおし、その視点から日本語の音声(発音)、文法・表現、アスペクトなどを見つめて、非母語話者にとって外国語としての日本語がどのように映っているかを考える。また、その上に立って、非母語話者に対する日本語教育の基礎の一部を学ぶ。					
講習の授業計画					
テキストは問題集の形式になっているので、問題のポイントを確認しながら順を追って、日本語、日本語教育の基礎について理解すべき点を受講者全員で共有していく。					
<ol style="list-style-type: none"> (9:00-10:30) 日本語の文法(日本語の動詞、形容詞、助詞、句型など)最後に確認テスト(小テスト)を実施 (10:45-12:15) 日本語の音声:日本語の音声上の特徴(母音と子音、無声化、特殊音節、拍、アクセント、プロミネンスなど)確認テスト(小テスト) (13:15-14:45) 日本語非母語話者の日本語の音声上の困難点について:他言語(英語、スペイン語、フランス語、韓国語、中国語など)を母語とする学習者からみる日本語の音声 確認テスト(小テスト) (15:00-16:30) 日本語と日本語教育:学校現場における日本語教育の実際について、受講者の体験やイメージなども共有しながら共に考える。総合テスト(小テスト) (90分×4コマで行うが、1コマの時間は内容により若干ずれることがある。ただし、全体合計は6時間(360分)とする。)					
テキスト	「全養協日本語教師検定準拠問題集 日本語教師の実践力」、全国日本語教師養成協議会 編著・発行、1,944円(税込)、ISBN:9784915515200 ※ このテキストを使用して講習を行うので、事前に予習の必要はありません。 ※ 必要に応じてプリントを配付する。				
参考資料等	なし				
修了認定(試験)の方法	4コマの各コマの中で、「小テスト」のような形で確認テストを行い、それらを合算して評価する。				
留意事項 (各自で準備するものなど)	受講者の方々の教育現場において外国人子弟が在籍し、その指導の経験がある方は、どのような点で苦労したか(しているか)についてお聞かせください。また、本講習に関連し、現場での状況など受講者全員で共有できる話題があればお持ちください。				
備考					